

令和4年度中央地区社会教育の重点

1 学びを支える体制の整備

(1) 地域の生涯学習・社会教育を支える体制の整備

- 教育委員会事務局への社会教育主事の配置に努める。
- 地域と学校の連携・協働の核となる統括的な地域学校協働活動推進員を委嘱する。

(2) 職員の資質能力の向上と地域人材の育成

- 関係機関が実施する講習や研修の機会を活用することで、新たな人材育成を図る。
(社会教育主事講習・県や市町村が主催する研修会等)
- 地域における事業や取組等で活躍するボランティアの育成を図る。

(3) 他部局・課所や民間機関等との連携・協働体制の確立

- 講座や事業を他部局・課所と協力して企画したり、運営したりする。
(地域おこし協力隊等)
- 民間機関等との連携を進める。
(企業・NPO等)

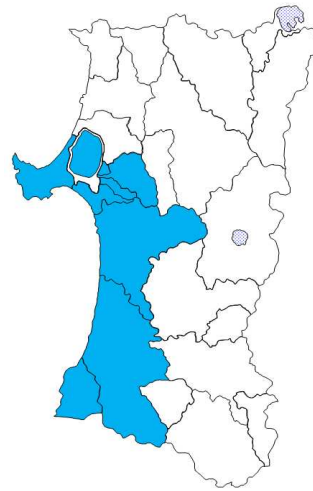
2 学びを進める計画の遂行

(1) PDCAサイクルを機能させた行政計画の運用

- 中期的な生涯学習・社会教育計画に基づいた施策や事業を進める。
- 事業評価の結果を施策や事業の改善に生かす。

(2) 具体的かつ客観的な評価システムの整備

- 評価指標と数値目標を取り入れた自己評価を実施する。
- 評価指標と数値目標を取り入れた外部評価を実施する。
(利用者・公民館運営審議会委員・社会教育委員等)



学校との連携

「学校を核とした地域づくり」
「地域とともにある学校づくり」
の実現に向けて

◇学校と地域の連携・協働の充実

- ◎幅広い地域住民等の協力を得ながら、学校における教育活動の充実を図る。
- ◎保護者、地域住民、教職員等の多くの関係者で「育てたい子どもの姿」を共有する。
- ・地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進

社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり

3 学びを広げる機会の充実

(1) 住民の願いに応える 学びの場の提供

- 住民のニーズを反映させた事業や講座を実施する。
- 各種媒体を活用し、効果的に情報を発信する。

(2) 地域課題や現代的課題を意識した 学習機会の充実

- 共生社会の実現に向けただれもが参加できる講座を開催する。
- オンラインによる研修や講座に対応できるI C T環境を整える。
- 地域防災に関する講座を開催する。

(3) 他地域との交流・連携の推進

- 他市町村と講座・講師情報を共有し、相互参加や有効活用を進める。
- 生涯学習奨励員の広域的な活動を促進する。

4 学びを生かす地域学校協働活動の推進

(1) 地域学校協働活動推進員を 核とした協働活動

- 地域学校協働活動推進員による日常的なコーディネート活動を展開する。
- 地域人材を活用し、多様な学習活動を支える体制整備を進める。

(2) 地域の特性を生かした放課後活動

- 地域素材を生かした多様な学習・体験活動プログラムを提供する。
- 安全・安心に配慮した活動環境の整備に努める。

(3) 地域と学校の連携・協働で進める 家庭教育支援活動

- 家庭教育に関わる相談活動や講座を実施する。
- 地域の実情に応じた家庭教育支援チームの充実を図る。

(4) 子ども読書活動推進計画に基づく 読書活動

- 読書活動を支えるボランティアの養成を図る。
- 公立図書館と学校図書館の連携を図る。

◇体験活動の充実

- ◎地域素材を生かした体験活動への参加を奨励する。
- ◎地域の優れた伝統文化に親しみ、体験できる機会を設定する。

- ・校外体験学習 ・職場体験
- ・教育施設等のセカンドスクールの利用
- ・地域の行事

◇読書活動の充実

- ◎読書活動を支えるボランティアを活用したり、読書関連イベントを開催したりするなど、全校体制で読書活動に取り組む。
- ◎読書環境の充実を図るため、魅力ある学校図書館づくりを進める。

- ・読み聞かせ活動 ・ビブリオバトル
- ・学校図書館活性化、読書環境整備
- ・学校図書館と公立図書館の連携